

令和6年度 編入学（一般・推薦）

看護学部

看護学 (120分)

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、6ページあります。なお、下書き用紙が1枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

1 次の文を読み、慢性腎臓病について、下記の説明で正しいものには○、誤っているものには×を、解答欄に記入しなさい。(16点)

- (1) たんぱく制限が必要となるのはステージ3からである。
- (2) 病期の進行とともに、心血管疾患のリスクも高くなる。
- (3) eGFRの低下とたんぱく尿の所見があれば、慢性腎臓病と診断できる。
- (4) ステージ4から透析導入を検討する。

2 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。(18点)

Aさん(55歳、女性、主婦)は、胆石症と診断され、腹腔鏡下胆嚢摘出術予定で入院した。Aさんは身長154cm、体重72kgである。Aさんは、2年前から健康診断でLDLコレステロールの高値(140~150mg/dl)を指摘されているが、治療は受けていない。Aさんにその他の特記すべき既往歴はない。

問1 Aさんの受ける腹腔鏡下胆嚢摘出術の、開腹胆嚢摘出術と比較した利点で、誤っているものを1つ選びなさい。

1. 身体侵襲が少ない。
2. 創が小さい。
3. 合併症が少ない。
4. 早期社会復帰が可能である。

問2 Aさんは、全身麻酔下で気腹法による腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けた。手術中にAさんに最も生じやすいのはどれか。1つ選びなさい。

1. 呼吸循環障害
2. 褥瘡
3. 高体温
4. 脳出血

問3 Aさんの術後の経過は良好で、退院の許可が出た。次回の外来受診は1週間後で、創部の抜糸が行われる予定である。Aさんへの退院指導の内容について考え、述べなさい。

3 高齢者の総合機能評価（CGA）についての説明文である。空欄に当てはまる語句を記入し，文章を完成させなさい。（16点）

高齢者の総合機能評価（CGA）は，医療の面から虚弱高齢者の〔 ① 〕機能を評価する手法として開発された高齢者の総合機能評価であり，〔 ② 〕，手段的日常生活活動（IADL），〔 ③ 〕機能，情緒・気分・幸福度，〔 ④ 〕，社会的環境（家庭環境，介護者，支援体制など）の構成区分からなる。

4 小規模多機能型居宅介護に関する説明で正しいものを 2つ 選びなさい。（4点）

1. 1つの事業所で「通い」「訪問」「宿泊」の3つのサービスが受けられる。
2. 1日あたりの利用定員は50人以下である。
3. 都道府県が事業者を指定する。
4. 介護保険で利用できるサービスの1つである。

5 精神看護学に関連するあとの問いに答えなさい。(32点)

問1 精神科における入院について述べられている以下の文章の①～⑦に入る適切な語句または数値を記入しなさい。

精神科における看護での精神保健指定医による診察結果の一致が要件となる入院形態は [①] 入院である。また, [②] 入院は, 入院を必要とする精神障害者で, [③] 他害のおそれがないが, [④] 入院を行う状態にない者を対象として, 本人の同意がなくても, 精神保健指定医の診察及び保護者の同意があれば入院させることができる入院制度である。[⑤] 入院は [⑥] の診察の結果, 入院が必要と認められ, 患者本人又は家族等の同意を得ることが難しい場合, [⑦] 時間を限度として入院させることができる入院形態である。

問2 リエゾン精神看護に関する説明で正しいものを2つ選びなさい。

1. 身体疾患と精神的問題とを併せ持つ患者は対象ではない。
2. 身体疾患の患者に対して, 精神看護の視点も含め, 直接ケアを行う。
3. 精神病床への移動指示は医師が行う。看護師は行えない。
4. コンサルテーションへの対応は医師が行う。

6 地域包括ケアシステムとは, 人口減少社会における介護需要の急増という困難な課題に対して, 医療・介護などの専門職から地域の住民一人ひとりまで様々な人たちが力を合わせて対応しているというシステムである。(14点)

問1 地域包括ケアシステム実現に向けた主な中核機関を1つ挙げなさい。

問2 地域包括ケアシステムの圏域はどのような範囲を基本としているか述べなさい。

7 基礎看護学、看護管理学に関連するあとの問いに答えなさい。(52点)

問1 以下の文章の①～④に適切な語句または数値を記入し、文章を完成させなさい。

法令上保存が求められている記録について、診療録は、医師法によって保存期間は [①] 年間、看護記録については医療法施行規則にて [②] 年間、助産録は保健師助産師看護師法にて [③] 年間の保存義務がある。ただし、健康保険法に定める保険医療機関の指定を受けた病院は、療養の給付の担当に関する記録として、保険医療機関及び保険医療養担当規則第9条（帳簿等の保存）により「療養の給付の担当に関する帳簿及び書類その他の記録」は [④] 年間の保存が義務づけられている。

問2 看護過程において客観的データはどれか。正しいものを1つ選びなさい。

1. 「症状が軽減している」と看護師が感じたこと
2. 患者の口唇がチアノーゼを呈しているという事実
3. 「吐き気がする」と患者が書いた日記
4. 「昨日と今日は違う気がする」という家族の訴え

問3 点滴静脈内注射 500ml を 2 時間で行う指示を受けた。20 滴で約 1ml の輸液セットを使用した場合、1 分間あたりの滴下数は何滴/分か。ただし、小数以下の数値が得られた場合には、小数第二位を四捨五入すること。計算式も書きなさい。

問4 薬剤を準備する際の事故防止のために確認すべきこと（6R）を挙げなさい。なお、順番は問わない。

8 母性看護学に関連するあとの問いに答えなさい。(12点)

問1 卵巣から分泌されるホルモンを2つ挙げなさい。

問2 更年期障害の女性にみられる特徴的な症状について誤っているものを1つ選びなさい。

1. 抑うつ
2. 倦怠感
3. 異常発汗
4. 食欲不振

9 次の文を読み、あとの問いに答えなさい。(24点)

Bちゃん(5歳、女兒)は、父、母、妹のCちゃんと4人家族で、保育園に通っている。Bちゃんは、2日前に39.0℃の発熱と両側の耳下腺部の痛みと腫脹が見られ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の診断を受け、自宅で療養していた。昨晩から頭痛を訴え、嘔吐が見られたため、本日母親に連れられて再度来院し、髄膜炎の疑いで個室に入院となった。

Bちゃん、Cちゃんともに既往歴はない。また、定期予防接種は順調に接種していたが、2人ともおたふくかぜワクチンは未接種であった。両親は流行性耳下腺炎の既往がある。Bちゃんの受診時の身体所見は、体温39.0℃、項部硬直と両側耳下腺部に腫脹と圧痛があった。母親から、Bちゃんは昨日から食欲もなく、傾眠傾向であったとの報告があった。検査所見は、白血球8,700/μL、血清アミラーゼ844U/L(基準44~132)、CRP0.2mg/dLであった。

来院時、くまのぬいぐるみが好きなBちゃんは、くまのぬいぐるみを握りしめながらぐったりとしていた。

問1 Bちゃんに腰椎穿刺を行うことになった。Bちゃんは検査の準備が始まると不安そうな顔をして母親にしがみついて泣き出した。Bちゃんの検査時に、看護師に求められる対応について説明しなさい。

問2 検査の結果、Bちゃんはムンプス髄膜炎と診断された。母親から看護師に「先ほど主治医の先生から、私たち家族の面会に制限があるので看護師さんから話を聞くように言われました。Bは初めての入院生活なので心配しています。家族の面会とBの入院生活について詳しく教えてください。」と質問があった。母親への説明について考え、具体的に述べなさい。

問3 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の合併症として、髄膜炎の他に下記のものが挙げられる。この中で、小児に起こりうる合併症はどれか。1つ選びなさい。

1. 卵巣炎
2. 精巣炎
3. 難聴
4. 心筋炎

10 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉において、梅毒が分類されるのはどれか。1つ選びなさい。(4点)

1. 一類感染症
2. 二類感染症
3. 三類感染症
4. 四類感染症
5. 五類感染症

11 生活保護のうち現金給付と現物給付である保護の種類を下記の選択肢から適切な語句を選び、記号で答えなさい。(8点)

ア. 生活扶助	イ. 教育扶助	ウ. 住宅扶助	エ. 医療扶助
オ. 介護扶助	カ. 出産扶助	キ. 生業扶助	ク. 葬祭扶助